

Q 海上ロッジ前の造成は

大石 秀昭 議員

A 現段階では難しい

市長

Q 海上ロッジ前の山の造成費のカットはなぜか。
また、畑一号線の測量費のカットはなぜか。予算上の引き継ぎ事項は大切に、予算執行するように考えていることですが、全て予算を

カットしているから、旧能美町民は合併しなかった方がよいという声があります。

A 海上ロッジ前の造成は、旧能美町議会も承認している引き継ぎ事項です。港湾埋立工事は進められている。県管理港湾

埋立工事は、既に残土により執行していて、改めて現段階での土切りによる土砂搬入は難しい。

Q 南部落の潮間の清掃は、昨年の旧能美町議会広報で約束しております。6月補正をしていただきたい。

A 新規事業については、緊急性、財政状況等総合的に判断し、実施する。



▲ 海に面した能美海上ロッジ周辺

Q 台風18号災害復旧について

大方 俊治 議員

A 今年度早期完了目指す

市長



▲ 台風18号で被害を受けた外美能漁港

Q 美能漁港復旧について、平成16年9月7日台風18号で外美能漁港は防波堤が崩壊し、漁船の沈没等がありました。復旧は今までのブロックを使用するのか、今よりは強度にしていけるのか、予算・工期はいつ頃になるのか。

A 工期は、平成17年3月10日から平成17年12月5日まで。工事費は3億1,000万円です。復旧しても風速26・6m、波高3mの強度では崩壊するのではな

Q 県には台風シーズンまでに完成するようお願いし、風速60m対策を要望する。

A 県には台風シーズンまでに完成するようお願いし、風速60m対策を要望する。

Q 子供達に豊かな教育を

山本 一也 議員

A 家庭・地域・学校で取り組む

教育長

Q 子供達が笑顔を取り戻せる豊かな教育の創造を、いかに実現させるのか。

A 家庭と地域と学校が一体となり、市民一人ひとりが尊重し合う中で、危機管理、不登校、障害児教育、教員の資質の向上等の課題に対して、計画を策定しながら取り組んでいく。

Q 各支所においては、予算や権限を充実させ、本庁から支所へ仕事を戻して、機能を充実させるべきでは。

A すでに支所長に対して指示しているが、これからも、ますます支所の機能を充実させ、笑顔の絶えない地域づくりを目指します。

▼ 元気な江田島小学校の児童



▲ ワークセンターおおきみ

Q 障害者保健福祉基本計画は

沖元 大洋 議員

A 18年度策定に向け準備する

市長

Q 支援費制度の利用状況は。

Q 開設を予定している。障害者に配慮した道路、住宅の整備は。

A 2月末現在、身体障害者は延べ51人、知的障害者は延べ99人が利用している。

A 現在、大柿町真道住宅は段差のない間取りで、建設予定の美能住宅においても十分配慮する。

Q 障害者に対する市民の理解を高める努力はしているか。

Q 生活福祉資金貸付制度の利用度は。

A 手話通訳者派遣事業の全市での展開。障害者生活支援センターの

A 平成16年度は、沖美町で1件あった。

Q 障害者やその家族の社会的自立を促進する支援は。

Q 有事災害等の緊急時の防犯・交通の安全対策は。

A 平成17年度から障害者生活支援センターを開設し、対応する。

A 安全施設の適切な設置更新、交通弱者の安全教育、防犯活動の推進に努めている。

Q 県条例に基づき、建築確認時にバリアフリー化を指導している。

Q 正看護師養成専門学校開校に支援できるか。

A 一般的な方向性が決定された段階で支援策を検討する。